

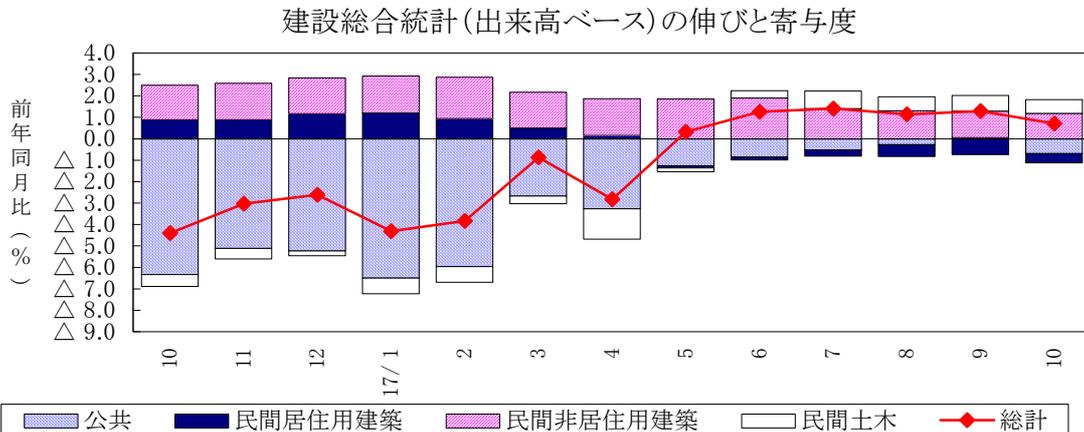
# 1. 建設投資の概況

## (1) 建設総合統計（出来高）

10月の建設総合統計を出来高でみると、全体で4兆9,606億円と対前年同月比0.7%増加した。

公共は、建築が2,612億円（前年同月比7.0%減）、土木が1兆6,613億円（同0.9%減）となり、全体では1兆9,225億円（同1.7%減）となった。

民間は、建築が2兆5,104億円（同1.5%増）、土木が5,277億円（同6.4%増）となり、全体では3兆382億円（同2.3%増）となった。



(単位:億円)

区分		総計	民間	建築		土木	公共	
年度年月	居住用			非居住用				
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	60,288	236,052
	16年度	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	56,357	203,170
月	17年 7月	41,755	28,713	23,816	16,244	7,572	4,897	13,042
	8	44,083	29,298	24,509	16,728	7,782	4,789	14,785
	9	47,120	29,907	24,742	16,821	7,921	5,166	17,213
	10	49,606	30,382	25,104	16,983	8,121	5,277	19,225

(対前年比、%)

年	15年度	△ 6.3	0.4	0.1	△ 0.2	0.9	1.7	△ 14.1
	16年度	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
月	16年10月	△ 4.4	3.5	5.5	2.7	12.3	△ 5.5	△ 14.3
	11	△ 3.0	3.8	5.8	2.8	13.2	△ 5.0	△ 11.2
	12	△ 2.6	5.0	6.7	3.9	13.4	△ 2.2	△ 11.1
	17年 1月	△ 4.3	4.2	6.9	4.1	13.5	△ 7.4	△ 13.6
	2	△ 3.8	3.9	6.6	3.1	14.2	△ 6.8	△ 13.0
	3	△ 0.9	3.3	5.0	1.7	12.4	△ 3.0	△ 5.9
	4	△ 2.8	0.7	3.8	0.5	11.2	△ 12.1	△ 8.4
	5	0.3	2.3	3.1	△ 0.3	10.7	△ 1.6	△ 4.0
	6	1.3	3.1	3.1	△ 0.3	11.1	3.0	△ 2.7
	7	1.4	2.9	2.0	△ 0.7	8.3	7.4	△ 1.6
次	8	1.1	2.2	1.4	△ 1.4	7.9	6.4	△ 0.8
	9	1.3	2.0	0.9	△ 2.0	7.8	7.1	0.1
	10	0.7	2.3	1.5	△ 1.2	7.7	6.4	△ 1.7
	累計 4月~10月	0.5	2.2	2.2	△ 0.8	9.1	2.4	△ 2.7

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

## (2) 公共機関からの受注工事

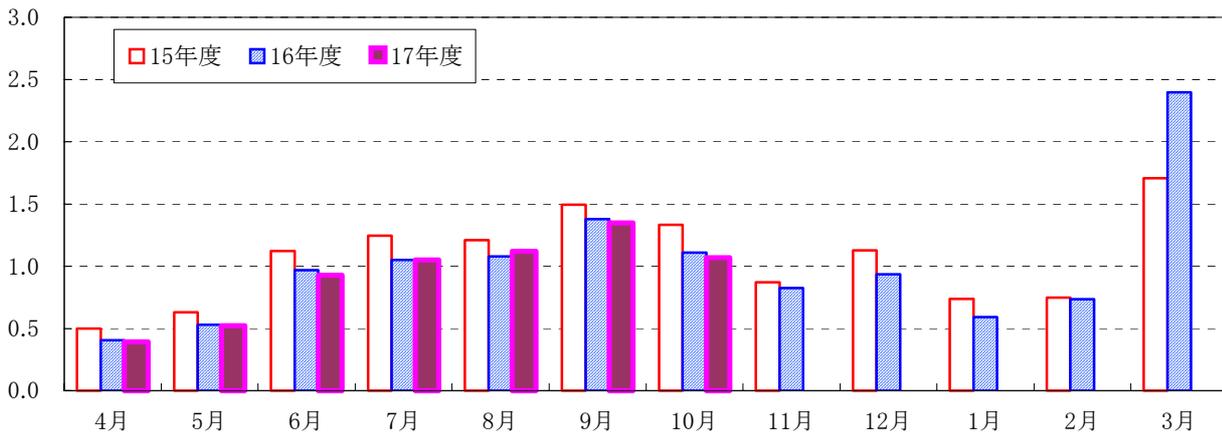
10月の公共機関からの受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関2,688億円（前年同月比19.5%減、6ヶ月ぶり）、地方の機関7,998億円（同3.0%増、先月の減少から再び増加）となり、全体で1兆686億円（同3.8%減、2ヶ月連続）となった。

工事分類別でみると、下水道（同36.6%増、寄与度+4.1）、上・工業水道（同30.4%増、寄与度+1.6）等が増加し、道路（同19.2%減、寄与度-5.6）、公園（同44.6%減、寄与度-1.4）等が減少した。

さらに発注機関・工事分類別でみると、国以外の期間の道路（寄与度-4.3）、都道府県の教育・病院（寄与度-1.8）等のマイナスの寄与度が大きい。

10月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比1.0%増加（4ヶ月連続）した。

(兆円) 公共機関からの受注工事額月別推移

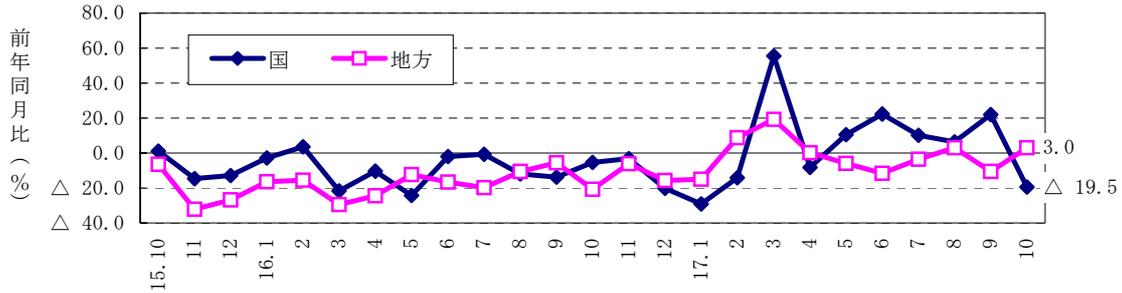


公共機関からの受注工事（対前年比、%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年	14年度	△ 8.1	△ 11.2	△ 2.9	△ 21.9	△ 6.7	△ 6.2	△ 5.6	△ 10.6	△ 13.1
	15	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
月	16年10月	△ 16.6	△ 5.3	△ 14.3	7.6	△ 20.7	△ 12.6	△ 27.8	6.3	△ 59.1
	11	△ 5.3	△ 3.3	△ 31.2	34.3	△ 6.1	△ 9.4	4.2	△ 16.7	△ 40.0
	12	△ 17.0	△ 20.2	△ 8.2	△ 32.4	△ 15.6	△ 15.6	△ 15.2	△ 28.6	6.3
	17年1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 25.6	△ 33.2	△ 14.9	△ 15.0	△ 22.3	9.5	△ 1.8
	2	△ 1.5	△ 14.1	△ 10.4	△ 18.6	8.8	△ 4.0	15.3	70.1	△ 3.1
	3	40.5	55.6	84.3	△ 3.5	19.3	22.6	21.8	6.2	2.0
	4	△ 3.3	△ 8.2	7.9	△ 32.4	0.1	23.7	△ 6.2	△ 39.8	△ 25.5
	5	△ 1.6	10.6	16.8	3.5	△ 5.9	△ 7.2	0.5	△ 4.0	△ 65.4
	6	△ 4.1	22.3	6.4	35.0	△ 11.6	6.2	△ 18.2	△ 29.4	△ 22.9
	7	0.1	10.2	28.1	△ 1.9	△ 3.6	17.6	△ 18.9	86.4	△ 31.6
8	3.9	6.5	23.2	△ 7.6	3.1	6.8	2.8	△ 6.2	△ 15.3	
9	△ 2.1	21.9	42.1	2.5	△ 10.6	△ 10.8	△ 8.7	13.1	△ 48.1	
10	△ 3.8	△ 19.5	△ 7.6	△ 33.2	3.0	△ 10.9	8.2	70.6	58.7	
累計	4月～10月	△ 1.4	5.9	17.1	△ 4.8	△ 4.2	△ 0.0	△ 7.4	12.9	△ 27.7

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(実数、億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社			
15年度	127,314	41,531	85,783	30,400	154,589	236,052	271,247
16	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	240,219
16年IV期	28,734	8,559	20,175	5,972	31,306	62,551	70,823
17年I期	37,266	20,268	16,999	13,699	29,212	55,457	65,762
II	18,423	5,678	12,744	3,722	35,392	37,675	47,476
III	35,193	10,429	24,763	7,715	37,857	45,040	56,098
17年5月	5,221	1,514	3,707	1,161	8,583	10,996	
6	9,289	2,607	6,682	1,768	13,030	11,873	
7	10,509	3,060	7,448	2,239	11,667	13,042	
8	11,201	2,990	8,211	2,054	12,042	14,785	
9	13,483	4,379	9,104	3,422	14,149	17,213	
10	10,686	2,688	7,998	2,057	12,379	19,225	

(対前年比、%)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	〔国の機関〕	〔地方の機関〕	大手50社			
15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 19.0	△ 12.0	△ 13.7	△ 14.1	△ 9.3
16	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 11.4
16年IV期	△ 13.8	△ 10.1	△ 15.3	△ 8.3	△ 15.2	△ 12.2	△ 7.7
17年I期	16.7	27.0	6.4	23.9	△ 5.5	△ 10.7	△ 15.9
II	△ 3.3	9.3	△ 8.0	0.2	△ 6.4	△ 5.4	△ 2.3
III	0.4	13.6	△ 4.3	14.7	△ 3.0	△ 0.7	1.9
16年10月	△ 16.6	△ 5.3	△ 20.7	△ 11.0	△ 22.4	△ 14.3	
11	△ 5.3	△ 3.3	△ 6.1	9.6	△ 4.2	△ 11.2	
12	△ 17.0	△ 20.2	△ 15.6	△ 18.2	△ 14.6	△ 11.1	
17年1月	△ 19.9	△ 29.0	△ 14.9	△ 26.5	△ 12.6	△ 13.6	
2	△ 1.5	△ 14.1	8.8	△ 14.0	△ 3.2	△ 13.0	
3	40.5	55.6	19.3	53.1	△ 3.1	△ 5.9	
4	△ 3.3	△ 8.2	0.1	10.2	△ 11.3	△ 8.4	
5	△ 1.6	10.6	△ 5.9	5.8	△ 0.4	△ 4.0	
6	△ 4.1	22.3	△ 11.6	△ 6.8	△ 4.7	△ 2.7	
7	0.1	10.2	△ 3.6	11.5	△ 12.7	△ 1.6	
8	3.9	6.5	3.1	0.7	△ 0.2	△ 0.8	
9	△ 2.1	21.9	△ 10.6	27.7	4.1	0.1	
10	△ 3.8	△ 19.5	3.0	1.0	△ 1.4	△ 1.7	
17年度累計	△ 1.4	5.9	△ 4.2	8.2	△ 4.2	△ 2.7	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

### (3) 住宅

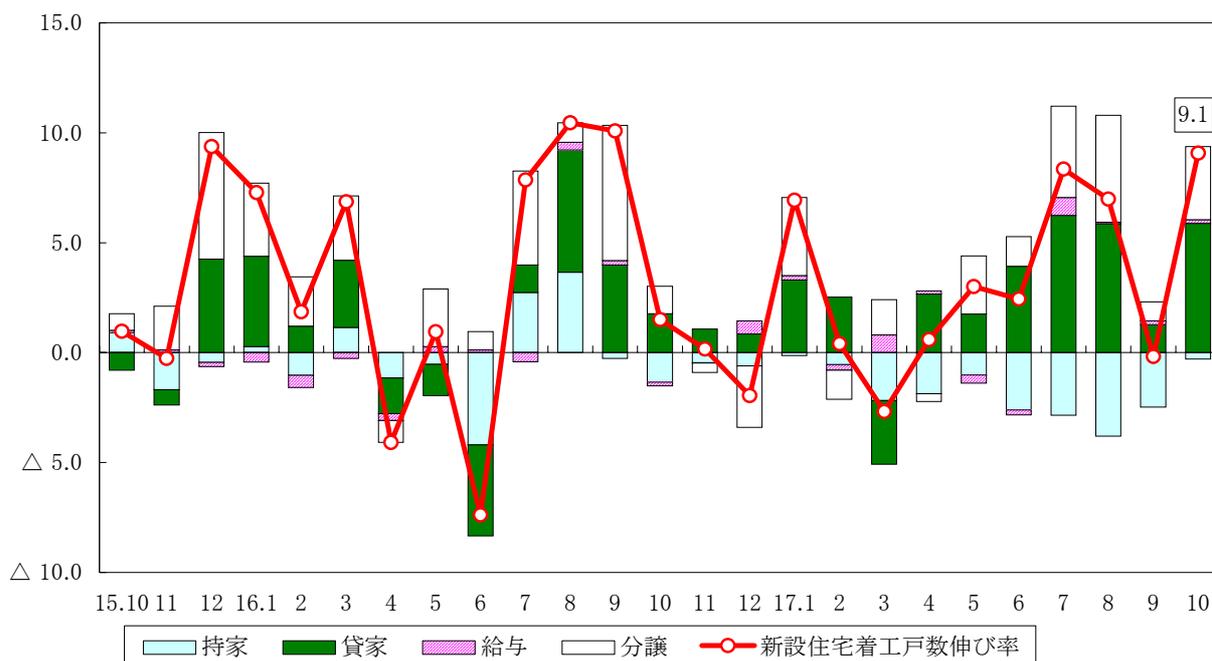
10月の着工は115,769戸。対前年同月比でみると、持家が減少したものの、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で9.1%増加（先月の減少から再び増加）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成16年10-12月期1,183千戸（前期比3.7%減）、平成17年1-3月期1,221千戸（同3.3%増）、4-6月期1,169千戸（同4.2%減）、7-9月期1,289千戸（同10.3%増）、10月1,292千戸（同3.8%増）となった。

新設住宅着工戸数（戸、対前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家		貸家	分譲住宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
年度年月	公庫 融 資			マ ン シ ョ ン					
年 度	14年度	1,145,553	△ 2.4	△ 3.1	△ 56.7	2.8	△ 8.1	△ 11.0	
	15	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
月 次	16年10月	106,145	1.5	△ 4.5	△ 65.1	4.4	4.3	3.1	1,187
	11	98,561	0.2	△ 1.6	△ 69.4	2.6	△ 1.5	△ 8.4	1,152
	12	98,849	△ 2.0	△ 2.2	△ 63.5	2.1	△ 8.9	△ 17.7	1,185
	17年1月	94,944	6.9	△ 0.5	△ 62.4	8.4	10.7	13.7	1,302
	2	85,288	0.4	△ 1.8	△ 58.4	6.7	△ 4.2	△ 8.6	1,173
	3	90,789	△ 2.7	△ 6.8	△ 57.1	△ 7.6	5.6	14.5	1,166
	4	96,740	0.6	△ 5.5	△ 50.4	7.2	△ 1.3	△ 3.5	1,138
	5	101,862	3.0	△ 3.1	△ 39.8	4.6	9.5	17.1	1,205
	6	109,184	2.4	△ 7.7	△ 42.5	10.3	5.0	10.9	1,222
	7	115,343	8.3	△ 8.5	△ 43.2	17.3	14.0	25.9	1,335
	8	109,199	7.0	△ 10.9	△ 38.7	15.3	18.7	38.9	1,271
	9	108,086	△ 0.2	△ 8.1	△ 31.7	3.3	2.9	6.4	1,245
10	115,769	9.1	△ 1.1	△ 22.9	14.3	11.1	18.6	1,292	
累計	4月～10月	756,183	4.4	△ 6.6	△ 39.6	10.3	8.5	15.9	—

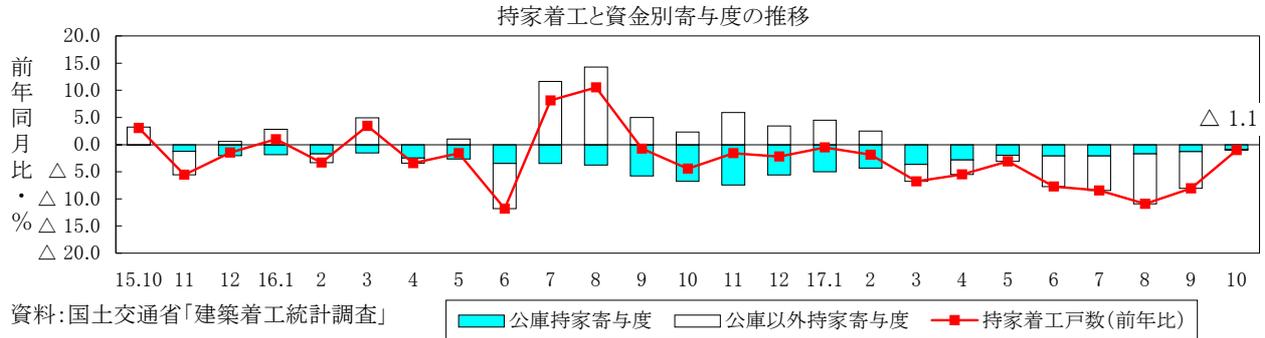
新設住宅着工戸数の伸びと利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

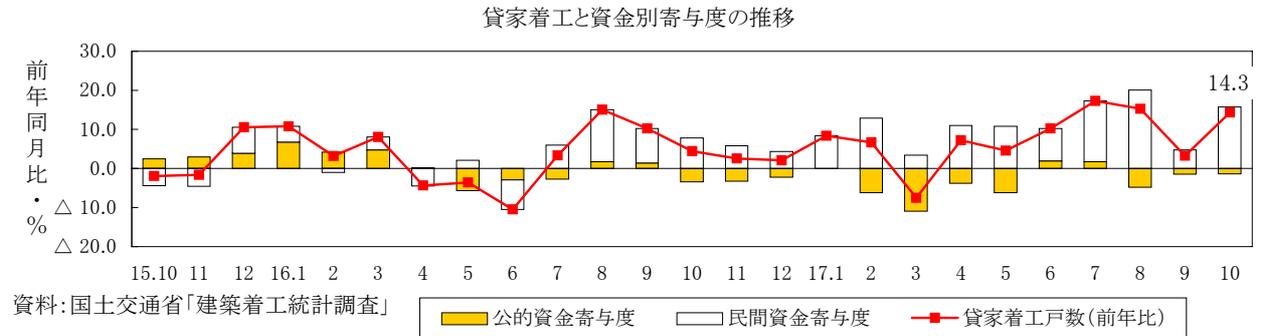
<持家>

10月の着工は29,812戸。北陸、中部、近畿、中国、四国では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比1.1%減少(14ヶ月連続)した。公庫融資による持家は880戸で同22.9%減少(6ヶ月連続)し、民間資金による持家は26,849戸で同1.1%減少(8ヶ月連続)した。



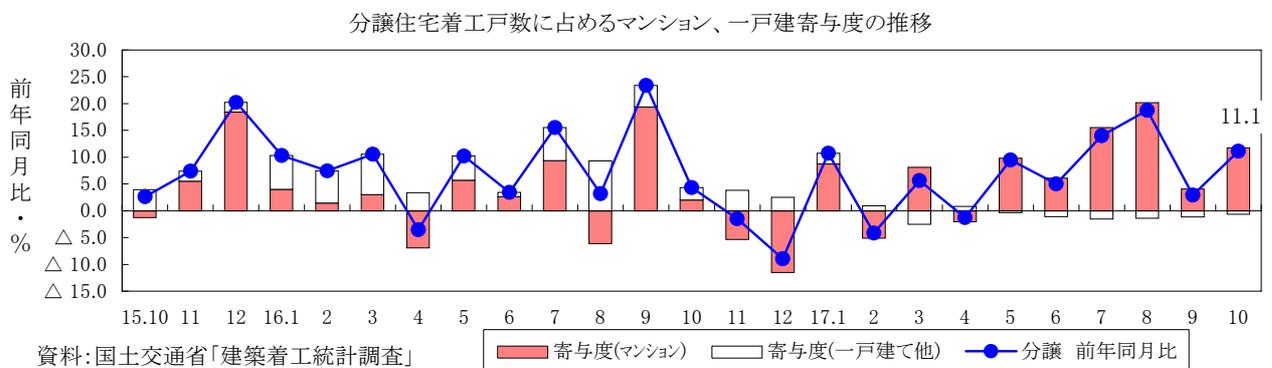
<貸家>

10月の着工は49,777戸。中国、四国では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比14.3%増加(7ヶ月連続)した。公的資金による貸家は4,656戸で同11.8%減少(3ヶ月連続)し、民間資金による貸家は45,121戸で同17.9%増加(16ヶ月連続)した。



<分譲>

10月の着工は35,239戸。近畿では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比11.1%増加(6ヶ月連続)した。マンションは23,735戸で、首都圏(11,908戸、前年同月比12.7%増、先月の減少から再び増加)は増加、中部圏(1,580戸、同41.6%増、先月の減少から再び増加)は増加、近畿圏(4,145戸、同17.6%減、5ヶ月ぶり)は減少、その他の地域(6,102戸、同85.2%増、2ヶ月連続)は増加し、全体では同18.6%増加(6ヶ月連続)した。一戸建住宅は11,333戸で、同1.9%減少(6ヶ月連続)した。



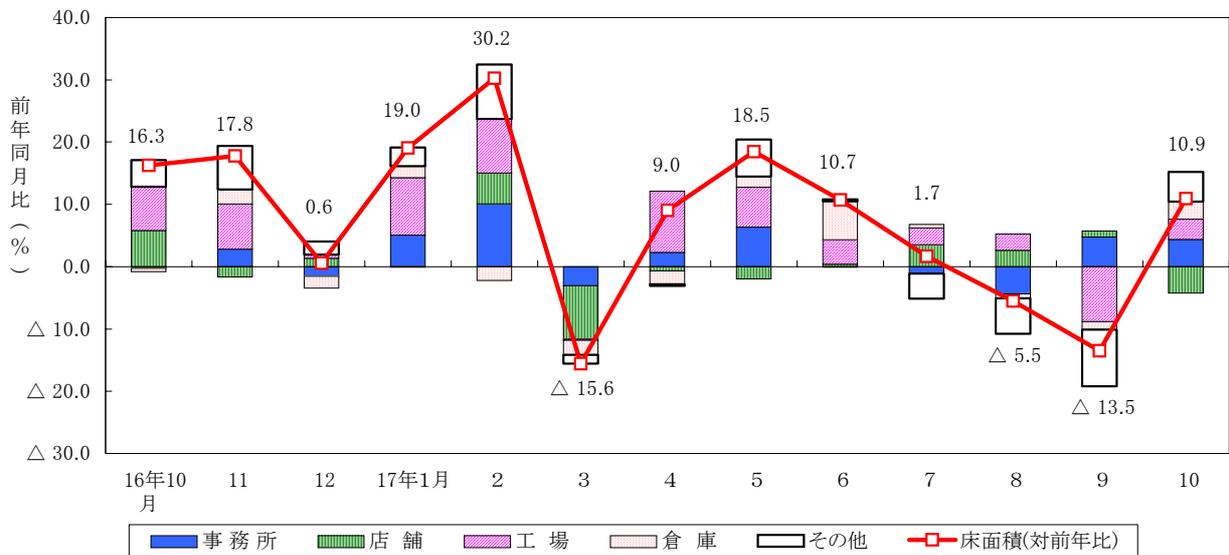
#### (4) 民間非居住建築

10月の着工床面積は601万㎡で前年同月比10.9%増加(3ヶ月ぶり)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は75万㎡で前年同月比45.9%増加(2ヶ月連続)、店舗は93万㎡で同19.9%減少(5ヶ月ぶり)、工場は122万㎡で同16.9%増加(先月の減少から再び増加)、倉庫は74万㎡で同26.3%増加(3ヶ月ぶり)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成17年12月実施)で平成17年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比17.3%増加(平成16年度同18.1%増加)となり、非製造業(大企業)は同7.0%増加(平成16年度同1.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は0、「先行き」は1となり、先行きの設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸びと用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	14年度	△ 2.9	△ 16.6	23.9	△ 16.4	△ 7.0	△ 9.2	△ 25.2	11.1	△ 20.2	△ 12.8
	15	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
月	16年10月	16.3	△ 2.5	30.4	45.6	△ 4.1	14.7	5.2	27.7	76.0	△ 12.0
	11	17.8	28.8	△ 9.2	36.9	19.1	4.9	37.0	△ 6.2	15.9	16.2
	12	0.6	△ 12.7	8.4	2.8	△ 15.0	△ 6.3	△ 40.4	3.8	10.5	△ 22.3
	17年1月	19.0	34.6	△ 0.8	48.4	15.9	13.8	0.9	9.8	43.8	21.4
	2	30.2	83.3	22.7	44.9	△ 17.4	40.2	137.6	24.0	41.3	△ 29.8
	3	△ 15.6	△ 24.6	△ 38.9	△ 1.5	△ 16.7	△ 22.8	△ 44.9	△ 25.8	2.7	△ 22.4
	4	9.0	29.4	△ 3.6	41.1	△ 13.6	11.8	27.8	3.5	26.7	△ 8.7
	5	18.5	61.6	△ 9.0	29.4	13.0	46.5	176.7	22.9	28.4	29.9
	6	10.7	△ 1.0	1.6	19.3	47.2	16.6	14.8	33.9	19.4	43.5
	7	1.7	△ 9.9	20.3	14.3	4.6	6.2	△ 10.1	20.8	35.1	△ 8.3
次	8	△ 5.5	△ 30.1	15.5	16.6	△ 5.0	△ 11.4	△ 58.3	8.7	23.7	5.5
	9	△ 13.5	66.5	6.3	△ 37.0	△ 10.7	△ 12.0	89.0	△ 10.0	△ 36.7	△ 4.4
	10	10.9	45.9	△ 19.9	16.9	26.3	17.7	47.5	4.6	18.5	23.6
累計	4月~10月	3.9	15.5	0.9	12.6	8.1	8.7	16.4	12.6	13.1	10.3

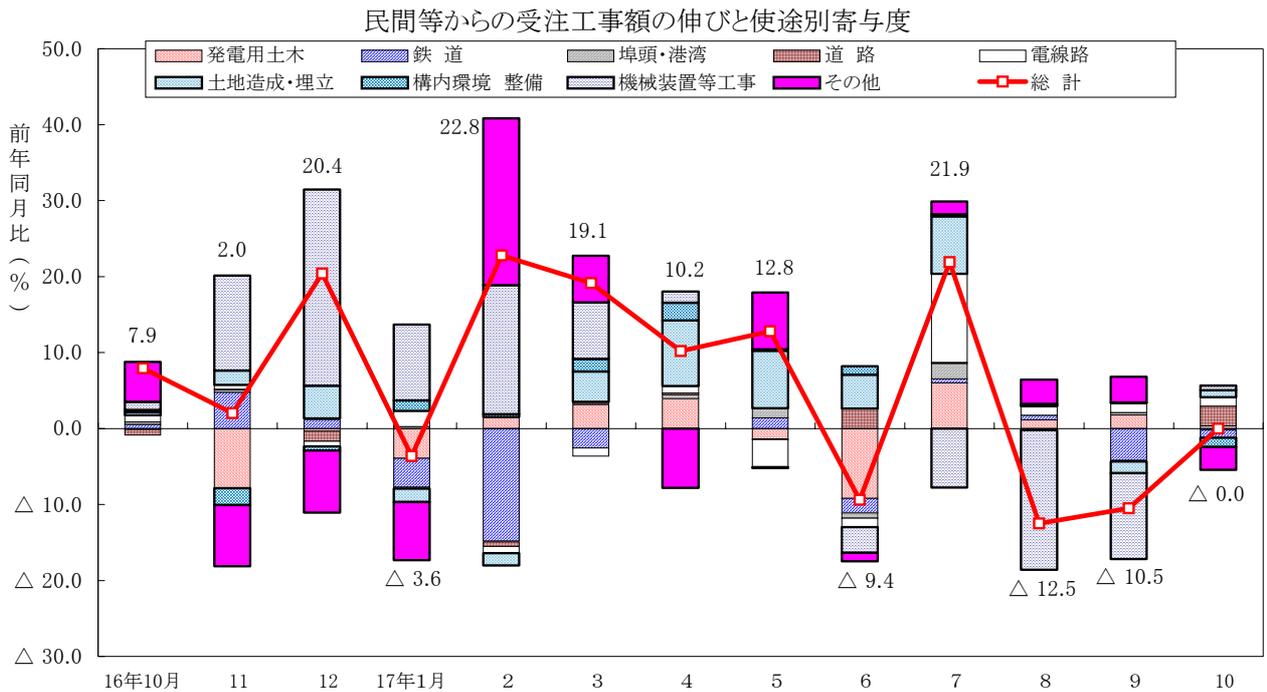
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事および機械装置等工事）

10月の土木工事及び機械装置等の受注工事額（1件あたり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,399億円で、前年同月比0.0%減少（3ヶ月連続）した。

発注者別で見ると、サービス業（前年同月比90.0%増、寄与度+5.5）、情報通信業（同13.0%増、寄与度+1.8）等が増加し、鉱業、建設業（同64.3%減、寄与度-3.8）、製造業（同10.1%減、寄与度-3.2）等が減少した。

工事種類別で見ると、道路工事（寄与度+2.6）、電線路工事（寄与度+1.2）等が増加し、管工事（寄与度-2.6）、構内環境整備工事（寄与度-1.2）等が減少した。



(対前年比、%)

		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等工事
年	14年度	△ 10.6	△ 21.1	10.8	83.0	△ 25.4	△ 22.9	△ 38.4	△ 26.7	△ 8.9
	15	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
月	16年10月	7.9	△ 8.6	3.9	41.3	△ 50.9	6.1	6.2	6.8	2.5
	11	2.0	△ 70.9	34.5	78.5	6.2	5.3	39.2	△ 43.7	39.7
	12	20.4	△ 8.5	8.6	22.3	△ 43.5	△ 6.4	65.9	△ 16.0	78.5
	17年1月	△ 3.6	△ 65.3	△ 23.8	35.7	△ 15.3	13.2	△ 22.6	59.5	31.5
	2	22.8	84.3	△ 55.1	△ 9.7	△ 40.1	△ 7.6	△ 20.4	16.5	34.2
	3	19.1	72.5	△ 8.6	19.1	17.3	△ 13.3	61.6	124.3	20.0
	4	10.2	580.5	0.2	76.5	13.8	5.9	118.9	58.8	4.1
	5	12.8	△ 51.5	13.7	186.4	△ 3.9	△ 31.7	113.7	△ 2.6	0.4
	6	△ 9.4	△ 86.9	△ 12.2	△ 50.0	488.0	△ 9.3	79.8	41.6	△ 9.1
	7	21.9	370.6	4.2	271.8	7.3	91.6	103.9	6.5	△ 16.8
次	8	△ 12.5	92.1	3.9	△ 0.8	△ 12.3	13.0	1.1	6.9	△ 36.3
	9	△ 10.5	95.8	△ 23.0	91.2	△ 6.0	15.3	△ 16.1	4.1	△ 25.7
	10	△ 0.0	△ 13.1	△ 7.5	36.1	399.9	8.4	13.9	△ 30.2	1.3
	累計	4月～10月	0.9	11.4	△ 6.3	66.3	51.3	15.5	46.9	9.1

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」